

低出生体重児クリニカルパス(入院計画表)

患者様用

様

	出生当日	入院中(保育器→赤ちゃん用ベッド)	退院
検査	入院時の検査 (血液検査、超音波検査、レントゲン撮影)	・必要時、血液検査等の検査を行います ・先天性代謝異常検査等: 生後5~7日目(希望者) ・聴力検査	◎退院の目安 (状況に応じて変わります) ・修正週数36週以降 ・体重2300g以上 ・体重が増加傾向にある ・ご両親が育児に自信が持てる
治療	・保育器に入ります----- (赤ちゃんの体温が適切に維持できるよう、 保育器の温度を調節します) ・モニターを装着します----- ・血液検査後、必要に応じて点滴を行います----- ・新生児出血性疾患の予防のため、 ビタミンK2を静脈注射します----- ・口からチューブをいれます(胃まで通じています)	→ 全身状態が安定すると、赤ちゃん用のベッドに移ります → 母乳(ミルク)で十分な水分、栄養が摂取できるようになると点滴は中止 します → ビタミンK2シロップの内服をします(生後5日頃) → 母乳(ミルク)が飲めるようになるとチューブを抜きます	
栄養	絶飲食 	・医師の許可により授乳(母乳・ミルク)を始めます (ミルク量は体重、消化具合をみながら増やしていきます) ・授乳は1日8回行います。時間は(1、4、7、10、13、16、19、22時で →医師の許可で自律哺乳になります ◎搾乳した母乳は、冷凍し溶けないように持ってきてください	
診察	毎日あります-----	-----	-----
説明	・検査結果が揃った後、医師より 赤ちゃんの状態について説明があります ・看護師よりオリエンテーションがあります	・ご家族の希望により、医師より状態説明をさせていただきます (ご希望の方はスタッフに声をかけてください)	・医師・看護師より 赤ちゃんの状態や 退院後の生活について 説明があります
清潔		・保育器: 全身清拭 ベッド移動後: 沐浴を毎日行います 	
看護	・赤ちゃんの発達に合わせて環境調整をします ・24時間体制で全身状態の観察をします ・1日に6回検温をします----- ・身体計測をします(体重、身長、頭囲、胸囲)-----	・赤ちゃんの成長・発達に合わせたケアを行っていきます → 体重: 毎日、頭囲・胸囲: 毎水曜、身長: 第1水曜に計測します 	
スキンシップ	・保育器の中の赤ちゃんに触れることができます	保育器 ◎受け持ち看護師と相談しながら おむつ交換や保育器の中での 抱っこなど、少しずつすすめて いきましょう 赤ちゃん用のベッド ◎医師の許可により、お母さんの 『すくすくレッスン』が始まります (授乳、お風呂などの練習をします)	◎退院時の持ち物 ・赤ちゃんのお洋服 (肌着・服・おくるみ等) ・オムツ ・母子手帳 
連絡事項	◎赤ちゃんのお名前が決まりましたら出生届を市役所に提出していただき 速やかに保険証の加入。乳児医療の手続きをして下さい。 →新生児集中治療センターへ提示し、病院での手続きをしてください。		

◎入院スケジュールは標準的なものであり、経過により変更することがあります。

担当医師 ()

受け持ち看護師()

